

石神井庁舎跡敷地の活用に関する パネル展へようこそ

活用に向けた経緯

現石神井庁舎にある区民事務所、戸籍、国保、総合福祉事務所、地域包括支援センターおよび子ども家庭支援センターなど、窓口での相談・申請サービス機能は、令和10年度に整備される予定の駅前再開発ビルに移転します。



機能移転後の石神井庁舎の建物は解体し、新たな施設を整備する方向で検討を進めています。

活用策の検討

機能移転後の敷地（跡敷地）の活用策を検討するにあたり、令和6年7月に、地元団体（町会、商店会）から推薦された方、公募区民、学識経験者、都立大泉高校の生徒で構成する「石神井庁舎跡敷地活用検討会議」を設置しました。



検討会議では、本年7月までに計7回の会議を開催し議論を進め、その成果として「石神井庁舎跡敷地の活用に関する提言」を10月に取りまとめました。

次のパネルからは、提言の概要をご紹介します。

活用のコンセプトと5つの視点

(提言P.2~3)

提言で示された新施設の活用コンセプトおよびコンセプトを実現するための5つの視点は次のとおりです。

石神井庁舎跡施設・跡敷地活用に関する基本方針

世代を超えた活動・交流

まち全体の賑わい

石神井庁舎跡敷地活用コンセプト

「ワクワク」と「ゆるゆる」が繋がる空間
～シンボリックでデザイン性に優れた新施設を目指して～



コンセプトを実現するための5つの視点

1. 日常の居場所

気軽に立ち寄り、くつろげ、開かれた場

2. みどり・憩い

自然と調和した、立体的なみどりの場

3. まちのゲートウェイ

まち全体を繋ぐ、象徴的で開放的な場

4. 多彩な活動

様々な活動が可能な自由度の高い場

5. 災害時の対応

いつ起こるともわからない災害に備える場

5つの視点ごとに示された新施設に望まれる空間・機能は次のとおりです。

1 日常の居場所

気軽に立ち寄り、くつろげ、開かれた場

- 日常を過ごし、本に触れ合える空間
- 何気なくふらっと訪れても楽しめる仕掛けのある空間
- 仕事や勉強など日々の生活を支える機能
- 多世代の人々の生活を応援する機能

2 みどり・憩い

自然と調和した、立体的なみどりの場

- みどり豊かで自然を感じながら憩える空間
- 石神井のみどりに触れ、育て、学べる機能
- 環境に優しく、視覚的にも環境配慮を発信できる空間



3 まちのゲートウェイ

まち全体を繋ぐ、象徴的で開放的な場

- まちの回遊性を高める拠点のひとつとなる場
- まち全体の魅力上昇に寄与するシンボリックな空間
- 石神井周辺一帯に賑わいをもたらす機能
- 施設の内外を一体的に活用する機能

4 多彩な活動

様々な活動が可能な自由度の高い場

- 用途を限定しない自由な空間
- 文化的な活動を支える充実した設備
- 多様なニーズに応え、地域発展を促進する機能
- 世代を超えた活動・交流を促進する機能

5 災害時の対応

いつ起こるともわからない災害に備える場

- 平時は人々の憩いの空間でありつつ、災害時には区民の安全を守る機能

新施設の整備にあたっての配慮事項

- 石神井地区のまちづくりとの調和
- ニーズの変化に柔軟に対応できる空間の実現
- 施設整備・運営の手法

(提言P.8～9)

検討会議を終えて(委員からの声)

(提言P.10～17)

- 石神井庁舎跡敷地の活用に関する期待等についての感想や意見を掲載



提言の概要は以上のとおりです。

引き続き、区において検討を進め、来年度、活用基本構想を策定します。